

取り扱い:3月31日(金)11時以降解禁

記者発表資料

平成18年度

国土交通省(宮崎県内) 予算のあらまし

国土交通省 宮崎河川国道事務所

国土交通省 延岡河川国道事務所

国土交通省 宮崎港湾・空港整備事務所

国土交通省 川内川河川事務所

国土交通省 鹿児島営繕事務所

平成18年 3月30日

問い合わせ先:発表資料に記載の各事務所に直接お問い合わせください。

平成18年度 国土交通省（宮崎県分） 直轄関連事業費（単位：百万円）

事業区分	直轄関連事業費			事業所別														
				宮崎河川国道事務所			延岡河川国道事務所			宮崎港湾・空港整備事務所			川内川河川事務所			鹿児島営繕事務所		
	平成18年度 当初予算(A)	平成17年度 当初予算(B)	対前年度比 A/B	平成18年度 当初予算(A)	平成17年度 当初予算(B)	対前年度比 A/B	平成18年度 当初予算(A)	平成17年度 当初予算(B)	対前年度比 A/B	平成18年度 当初予算(A)	平成17年度 当初予算(B)	対前年度比 A/B	平成18年度 当初予算(A)	平成17年度 当初予算(B)	対前年度比 A/B	平成18年度 当初予算(A)	平成17年度 当初予算(B)	対前年度比 A/B
河川関係	13,202	6,654	1.98	8,291	4,552	1.82	4,347	1,749	2.49				564	353	1.60			
河川事業	12,145	5,597	2.17	7,340	3,996	1.84	4,241	1,250	3.39				564	351	1.61			
砂防事業	700	552	1.27	700	552	1.27												
災害復旧事業	357	505		251	4		106	499					0	2				
道路関係	26,087	21,042	1.24	16,092	11,868	1.36	9,995	9,174	1.09									
道路事業	26,087	21,042	1.24	16,092	11,868	1.36	9,995	9,174	1.09									
災害復旧事業	0	0		0	0		0	0										
港湾関係	1,843	2,313	0.80							1,843	2,313	0.80						
港湾事業	1,843	2,313	0.80							1,843	2,313	0.80						
災害復旧事業	0	0								0	0							
空港関係	261	444	0.59							261	444	0.59						
空港事業	261	444	0.59							261	444	0.59						
災害復旧事業	0	0								0	0							
営繕関係	1,088	101	10.77													1,088	101	10.77
計	42,481	30,554	1.39	24,383	16,420	1.48	14,342	10,923	1.31	2,104	2,757	0.76	564	353	1.60	1,088	101	10.77

※ 空港事業には無線関係は含まず。

宮崎河川国道事務所

平成18年度予算のあらまし

○河川事業 平成2年、5年、9年、16年、17年の浸水被害対策を最重点的に実施します。

天神川・江川排水機場を重点的に継続・促進

宮崎市富吉地区及び萩原地区における浸水被害軽減のための天神川排水機場・江川排水機場整備を重点に継続・促進します。

大淀川河川激甚災害対策特別緊急事業を重点的に継続・促進

大淀川下流域の治水安全度の向上並びに浸水被害軽減のための激特事業を重点に継続・促進します。

○砂防事業 土砂災害を未然に防除、又は被害を最小限にとどめるための安全確保を図ります。

平成19年度完成を目標に砂防堰堤を継続・促進

大淀川水系の高崎川流域及び大淀川水系の境川流域における土砂流出抑制のため、大幡第4砂防えん堤と七瀬谷川砂防えん堤の整備を継続・促進します。

○道路事業 着々と着実にまた、重点的に取り組むことを目的とした「ちゃくちゃくプロジェクト」により、選択と集中、そしてスピーディーで無駄のない整備を進めます。

花見改良 全線供用開始(暫定2車線)

一般国道10号「花見改良」のバイパス区間(延長約1.3km)について供用開始し、全線約2.0km(暫定2車線)が完成します。

青島～日南改良の整備促進

一般国道220号「青島～日南改良」のうち折生迫～内海間の整備を促進し、平成19年度の供用を目指します。

都城道路、新富バイパスの整備促進

一般国道10号「都城道路」(地域高規格道路)及び一般国道10号「新富バイパス」の用地買収を促進し、工事に着手します。

東九州自動車道「清武～日南間」の整備促進

東九州自動車道「清武～日南間」の用地買収、工事を促進します。

電線共同溝の促進

一般国道10号大塚地区、一般国道220号中村恒久地区の事業が完成します。

問い合わせ先 国土交通省宮崎河川国道事務所 TEL 0985-24-8221

河川・砂防事業

技術副所長 永 野 和 博
工務第一課長 松 元 賢 市
工務第二課長 前 田 昭 浩

道 路 事 業

技術副所長 岩 山 順 一
調査第二課長 坪 内 健

平成 1 8 年度予算の主な事業

河川事業

○防災・震災対策の推進

- ・大淀川水系
- ・大淀川水系
- ・大淀川水系

天神川排水機場(宮崎市富吉地区)
江川排水機場(宮崎市高岡町萩原地区)
大淀川河川激甚災害対策特別緊急事業

P3～4参照

P3～4参照

P5～6参照

砂防事業

○防災・震災対策の推進

- ・大淀川水系高崎川流域
- ・大淀川水系境川流域

大幡第4砂防えん堤(西諸県郡高原町)
七瀬谷川砂防えん堤(都城市山之口町)

P7参照

P7参照

河川砂防事業位置図



大淀川水系 天神川・江川排水機場

－ 大雨による慢性的な浸水被害を軽減 －

■ 事業の目的

- ・ 大淀川下流地区の県都宮崎市の市街地郊外住宅地に位置し、東九州の交通の要である国道10号や高幹道の通る富吉・萩原両地区においては、内水被害の常襲地帯であることから幾度となく宅地への浸水被害が発生しており、主要道路の寸断により交通流が遮断され社会経済活動の停滞も生じている状況です。

特に平成2年9月、平成5年8月、平成9年9月、平成17年9月の出水では甚大な浸水被害が発生しました。そこで、今後ますますの市街化が予想される当該両地区において、早期に慢性的な床上浸水被害を解消するため、緊急的な事業を実施します。

事業としては、大淀川と天神川（富吉地区）及び江川（萩原地区）の合流点附近に排水機場を設置し、内水をポンプにより大淀川へ強制排水し、浸水被害の軽減を図ります。

本事業は、平成15年度より着手しており、本年度は、天神川は排水機場本体工及び機械設備工に着工し、江川は昨年度に引き続き機械設備工を実施し、電気設備工及び建築工に着工するものです。

■ 事業の概要

・ 天神川排水機場

場 所 : 宮崎県 宮崎市 富吉地先（大淀川右岸 14k900付近）

予定工期 : 平成15年度～平成20年度

全体事業費（概算） : 約29億円

ポンプ規模 : 5m³/秒×2台

・ 江川排水機場

場 所 : 宮崎県 宮崎市 高岡町 萩原地先（大淀川右岸 16k600付近）

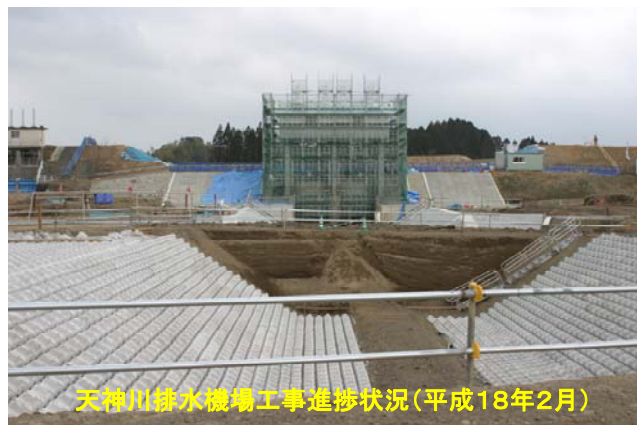
予定工期 : 平成15年度～平成19年度

全体事業費（概算） : 約31億円

ポンプ規模 : 9m³/秒×2台

(別 紙)

■ 天神川排水機場



■ 江川排水機場



おおよど
大淀川水系

おおよどがわかせんげきじんさいがいたいさくとかくべつきんきゅうじぎょう
大淀川河川激甚災害対策特別緊急事業

－ 治水安全度の向上並びに床上浸水被害の軽減 －

■ 事業の目的

- ・ 昨年９月の台風１４号は宮崎県内を暴風域に巻き込みながら九州西海上を通過し、大淀川下流域の１市２町（宮崎市、東諸県郡国富町、東諸県郡綾町）において、浸水面積2,166ha、浸水家屋数4,483戸（床上浸水3,697戸、床下浸水786戸）に達する甚大な被害となりました。

「河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）」では、今回の被害を踏まえ、平成２１年度までに、浸水による被害を軽減するための緊急対策を重点的に実施するとともに、激特事業と併せて地域と連携のもと、地域防災力を向上させる取り組みを実施するものです。

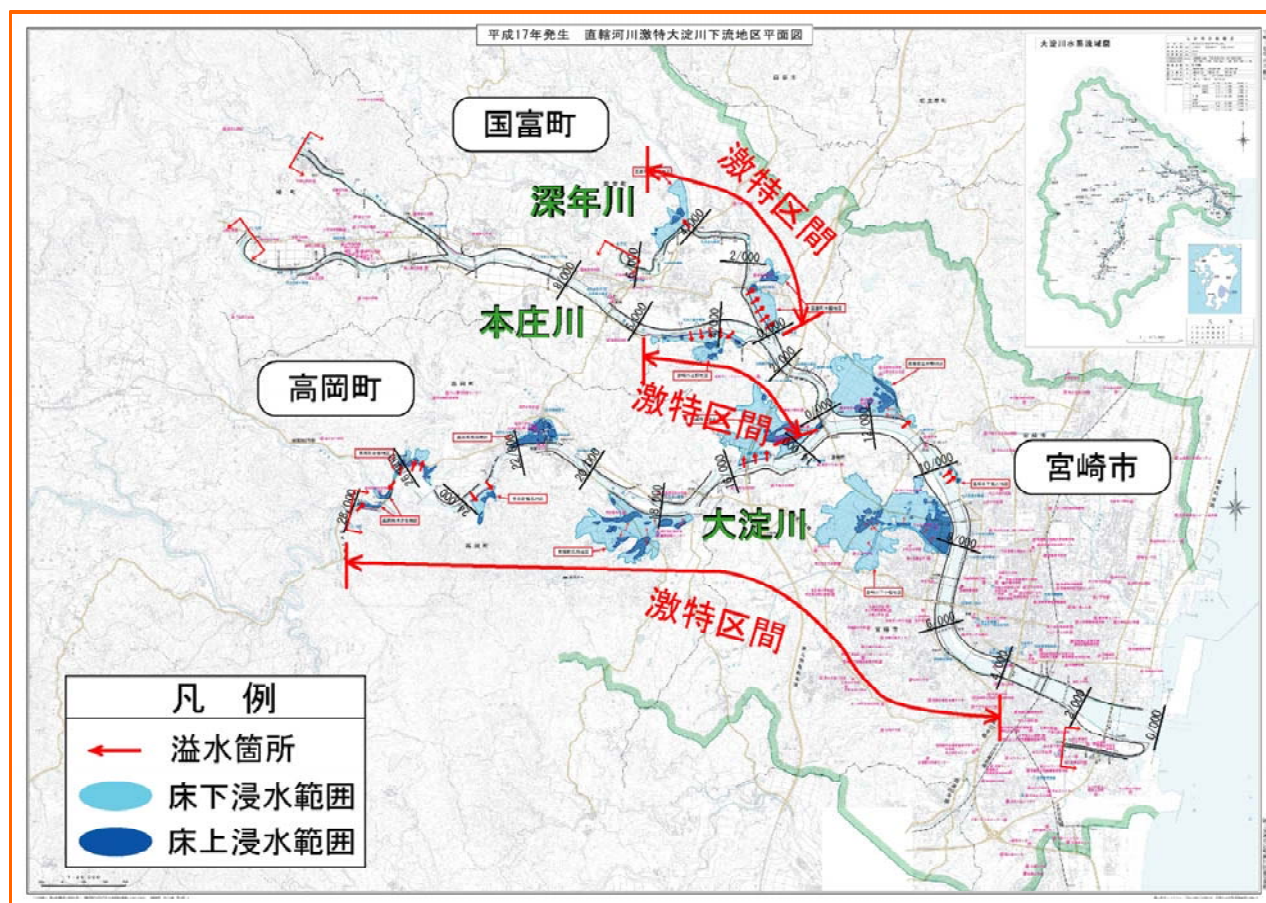
激特事業の工事として、外水に対しては、洪水が流れにくい宮崎市街部の河道掘削及び溢水箇所への築堤を行い、外水氾濫の回避を図ります。また、内水被害の頻発する地区に対しては、本川河道の掘削により洪水継続時間の短縮を図ると共に、総合的に内水対策を実施することにより、1/10規模の降雨に対して床上浸水被害の軽減を図ります。

平成１８年度は、台風期前を目標に実施する河道掘削箇所の護岸工及び今後実施する築堤箇所の用地買収を実施します。

■ 事業の概要（直轄のみ）

- ・ 場所 : 大淀川・本庄川・深年川（別紙参照）
- ・ 予定工期 : 平成１７年度～平成２１年度
- ・ 全体事業費 : ２４０億円

【 激特事業箇所】



おおはただいよんさぼうえんてい ななせだにがわさぼうえんてい
大幡第4 砂防えん堤・七瀬谷川砂防えん堤

— 土石流の流出を抑制し、土砂災害を防止する —

1. 事業の目的

大淀川水系高崎川は、霧島火山群の重荒廃地域を源頭部に持ち、崩壊侵食による土砂災害を受けやすく、過去にも下流域で多くの災害をもたらしてきました。

また、大淀川水系境川においては、平成17年9月の台風14号により支川七瀬谷川で大規模土砂崩壊が発生し、下流への土砂災害が懸念されています。

そこで、有害な土砂の流出抑制、河床の安定・溪岸保護などを目的に、砂防えん堤を設置し、土砂災害から下流域の人命・財産の被害を防止します。

2. 事業の概要

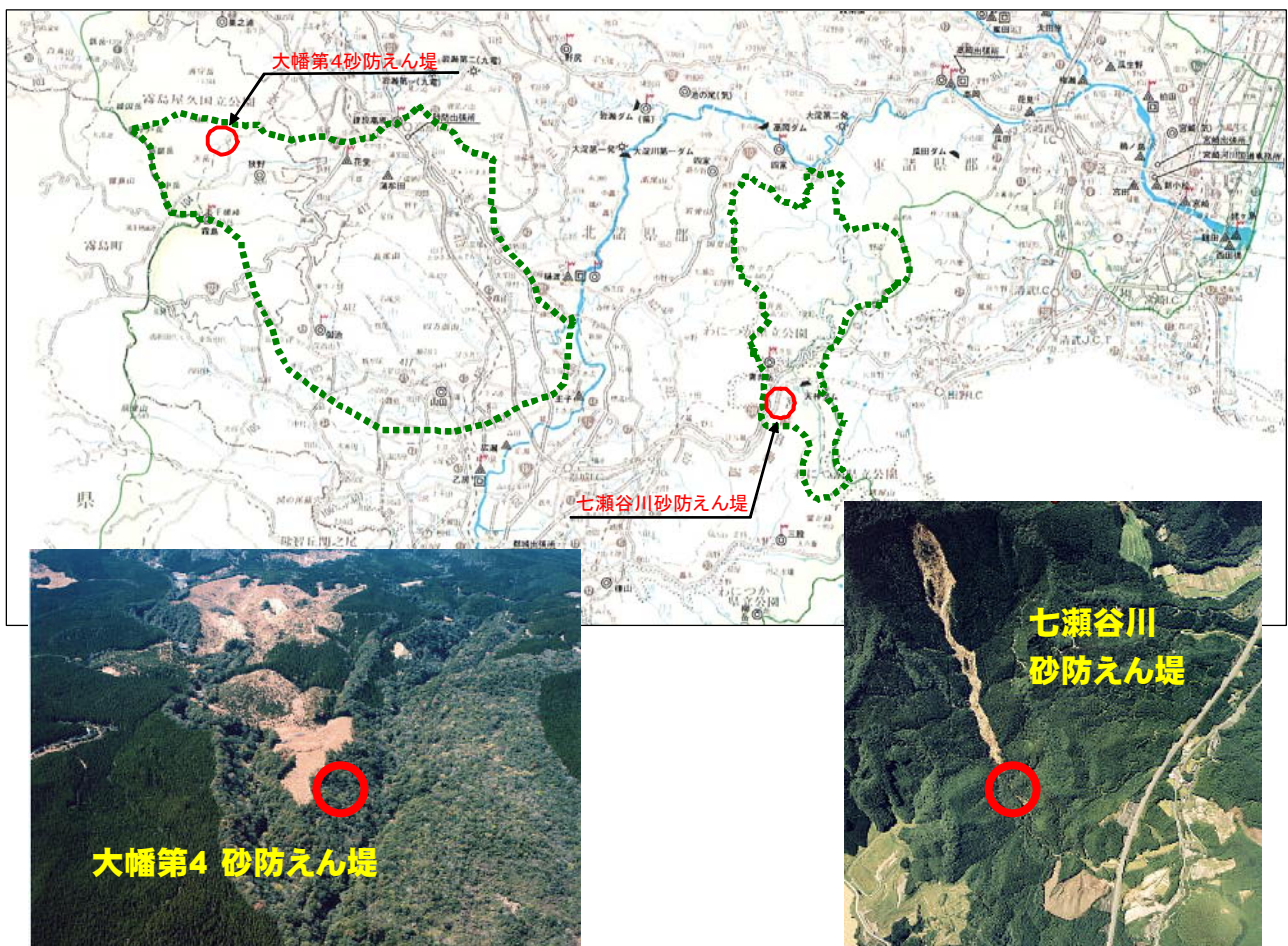
大幡第4 砂防えん堤

場 所 : 宮崎県 西諸県郡 高原町
予定工期 : 平成16年度～平成19年度
全体事業費(概算) : 約10億円
施設規模 : H = 14.5m L = 70m

七瀬谷川砂防えん堤

場 所 : 宮崎県 都城市 山之口町
予定工期 : 平成17年度～平成19年度
全体事業費(概算) : 約6億円

3. 位置図等



道路関係事業

安全な国土・危機管理の充実

安全で安心して暮らせる地域の実現に向け、自然災害に対して安全で信頼性の高い道路網を確保するとともに、交通安全対策の推進など安全な生活環境を確保します。

○防災・震災対策

- ・一般国道 220 号 青島～日南改良 P 10 参照
おりゅうざこ うちうみ
[折生迫～内海間]

平成19年度の供用を目標に、堀切トンネル(仮称)及び折生迫～内海間の改良工事を促進します。

- ・防災工事

一般国道 220 号宮崎市～日南市間の通行規制区間内の防災工事を促進します。

- ・橋梁の震災対策

一般国道 10 号沖水橋(上り線)等の耐震補強を実施します。

○道路管理の高度化

- ・ITVカメラ(道路監視用カメラ) 4基 (10号:1基、220号:3基)

循環型社会に向けた社会基盤づくり

環境負荷の少ない交通体系の構築を進めるため、交通の円滑化や低騒音舗装の敷設などにより沿道環境を改善し、また、リサイクルの促進により循環型社会の実現を図るとともに、沿道緑化の推進など自然環境を保全・創造します。

○沿道環境の改善

- ・一般国道 10 号 児湯郡都農町大字川北地区(低騒音舗装)

拠点都市の機能高度化

都市と地方の機能高度化を図るため、環状道路・バイパスなどの都市基盤整備や都市圏の交通円滑化対策(渋滞対策)を進め、さらには安全で快適な歩行空間・自転車利用環境の整備を進めます。

○道路改築事業

・一般国道10号 花見改良 P10参照

花見改良「バイパス区間」の改良工事を完成させ、延長約1.3kmについて供用開始することにより、花見改良の全区間約2.0km（暫定2車線）が完成します。

また、花見橋の旧橋撤去工事を促進し、撤去を完了します。

・一般国道10号 新富バイパス P11参照

新富バイパス全区間の用地買収を促進し、軍瀬交差点部の工事に着手します。

○電線類地中化 P12～13参照

- ・一般国道 10号 宮崎市大塚地区 かみまち（完成）
- ・一般国道 10号 都城市都城上町地区（継続）
- ・一般国道220号 宮崎市中村恒久地区（完成）
- ・一般国道220号 日南市春日地区（新規）

○歩行空間バリアフリー化

- ・一般国道 10号 佐土原町片瀬原地区 きどわらちょうかたせはる（歩道整備：継続）
- ・一般国道 10号 都城市高城町片前地区 かたまえ（歩道整備：継続）
- ・一般国道 10号 宮崎市高岡町浦之名地区 うらのみょう（歩道整備：完成）
- ・一般国道 10号 川南町川南地区（付加車線設置：完成）

広域交流ネットワークの確立

高規格幹線道路や地域高規格道路などの自動車専用道路ネットワークについて、重点的かつ効率的に整備を進め、地域間の連携を支援し、経済活力の回復を図ります。

○高規格道路・地域高規格道路の整備

・東九州自動車道「清武～日南間」 P14参照

（高規格道路・新直轄事業）

「清武～北郷間」 調査設計、用地買収、工事を促進します。

「北郷～日南間」 調査設計を促進し、用地買収、工事に着手します。

・一般国道10号「都城道路」 P11参照

（地域高規格道路 都城志布志道路）

都城市平塚町ひらつかちょう～同市五十町ごじつちょう（L=1.9km）間の用地買収及び文化財調査を促進し、工事に着手します。

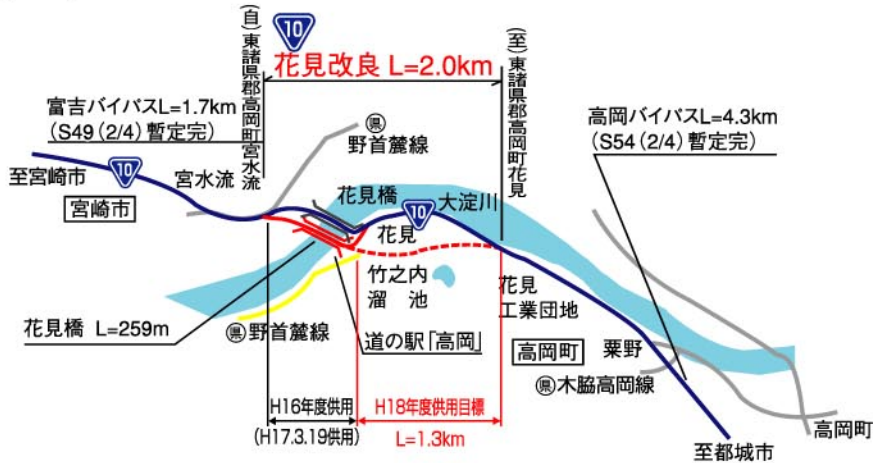
また、都城市南横市町みなみよこいちちょう～同市平塚町ひらつかちょう（L=2.8km）間の設計協議及び用地調査等に着手します。

一般国道10号 花見改良



事業の背景

架設後50年以上経過した花見橋は老朽化が目立ち、震災点検における対策箇所として、架け替えが必要になっていました。また、大型車の交通量が著しく増加し、平成11年では、昭和60年当時の約1.5倍の大型車が通行しています。旧花見橋は、今後予想される車両の大型化(総重量25t)への対応が課題となっていました。尚、既に花見橋は平成17年3月19日に架け替えが完了し供用開始を行いました。



花見橋旧橋撤去



バイパス部改良工事

平成18年度事業

改良工事【完成】、供用開始(花見交差点～終点 延長約1.3km)、花見橋旧橋の撤去工事完了

一般国道220号 青島～日南改良



事業の背景

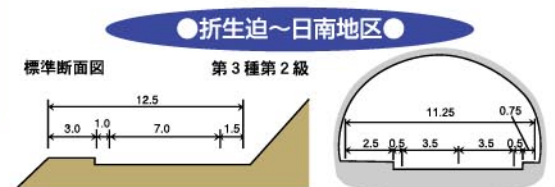
一般国道220号(延長約190km)は県南地域の生活・産業・経済に欠かせない路線であるだけでなく、「観光宮崎」を支える重要な主要幹線道路です。海岸線の屈曲が著しく、特殊な地質の地域を通過しているため、異常気象時には事前通行規制を実施しなくてはならない区間と、宮崎の主要な観光地であることから交通渋滞を引き起こす区間があり、この問題の解消が求められています。尚、平成17年12月23日に青島バイパス全線の供用開始を行いました。



堀切トンネル工事中



宮崎側航空写真



平成18年度事業

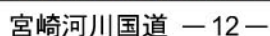
「折生迫～内海間」改良工事【継続】、堀切トンネル(仮称)【継続】

ちやくプロジェクト
宮崎河川国道事務所

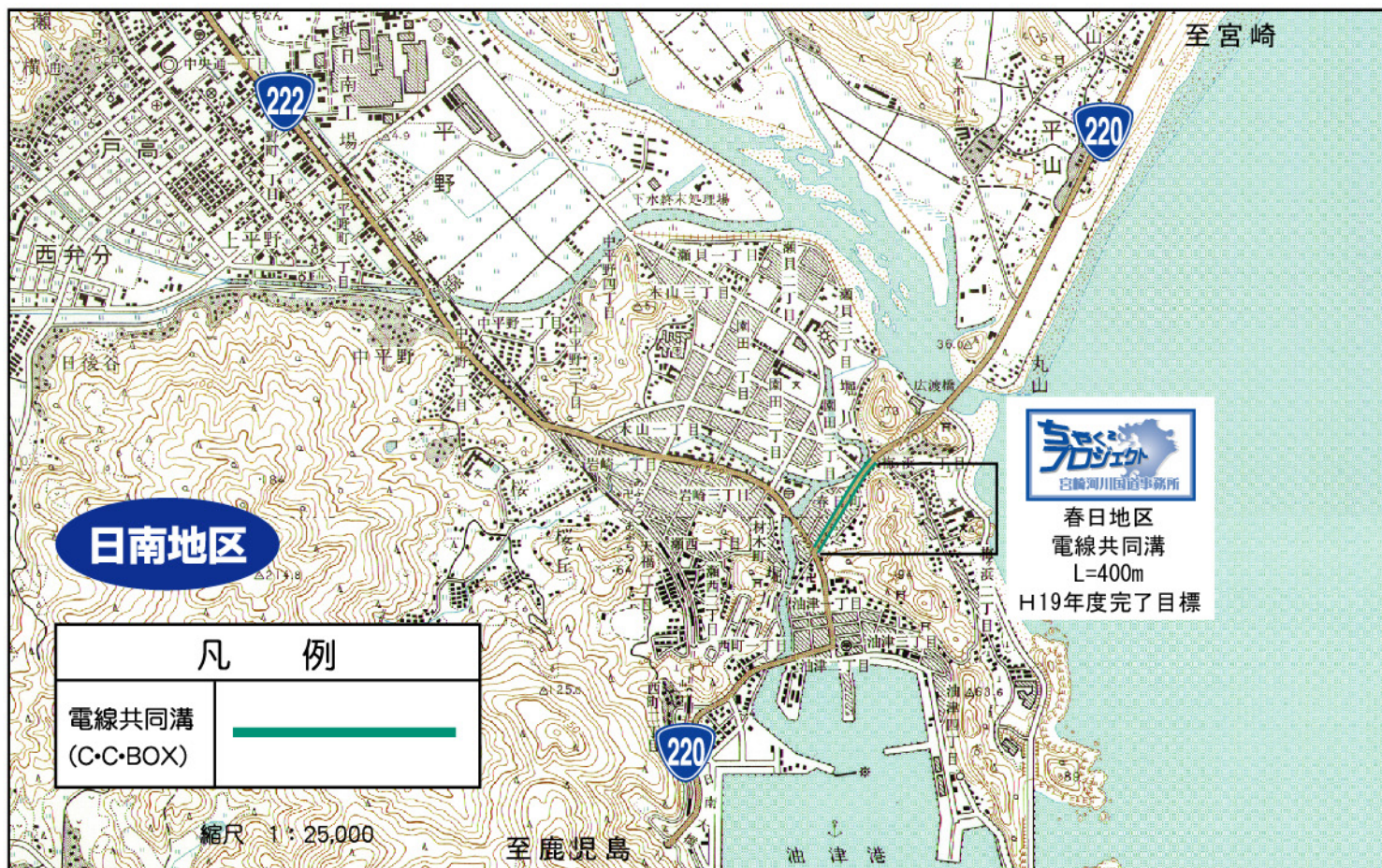
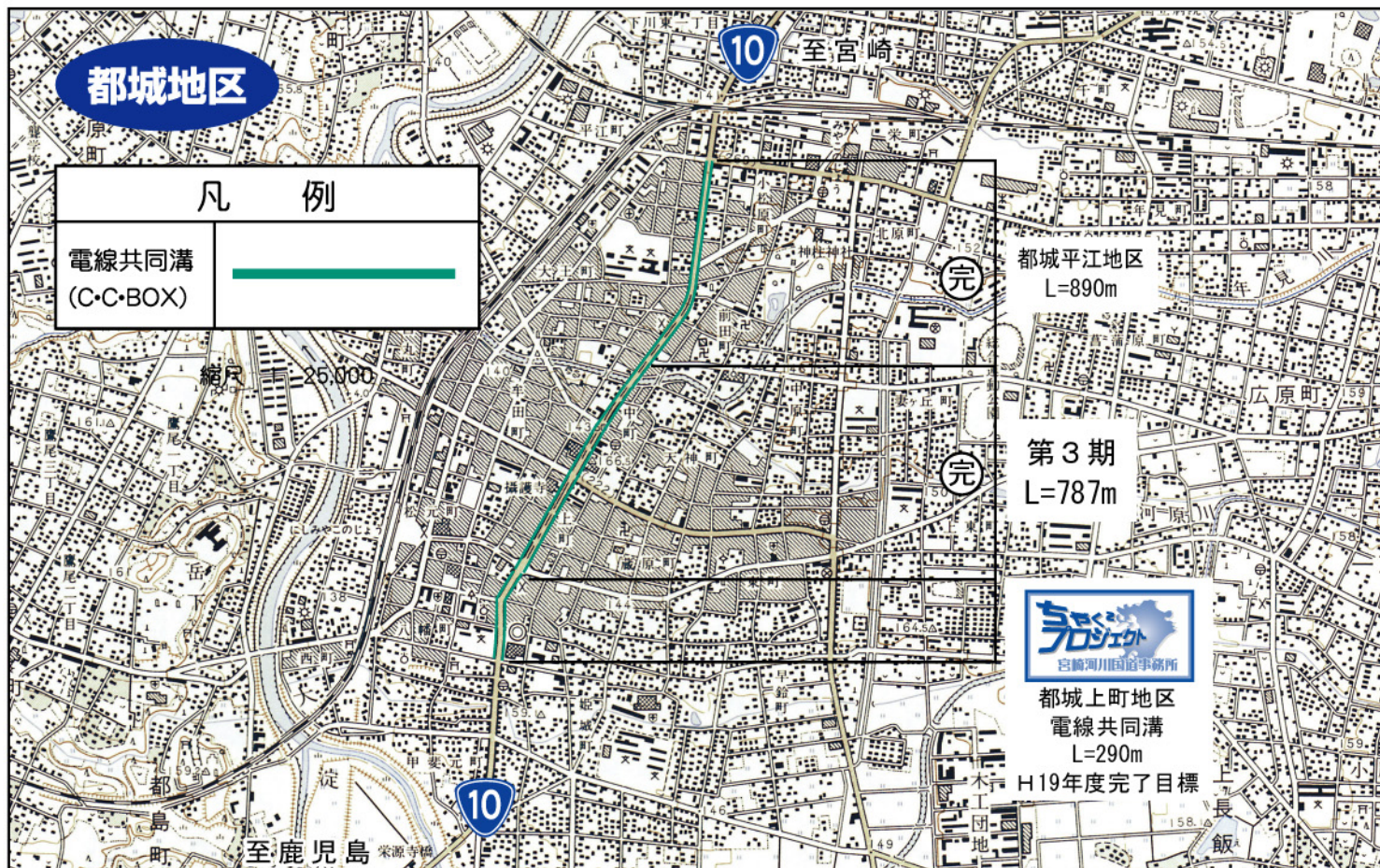
An aerial photograph showing a wide river at the top, flowing through a green landscape. Below the river, there are patches of green fields and some small clusters of buildings. A road or path runs vertically through the center of the image, separating different areas of land. The bottom part of the image shows a more densely populated area with many small buildings and structures, possibly a small town or village. The overall scene is a mix of natural and human-made elements.

宮崎河川国道 — 11 —

(国道10号・220号)



都城地区・日南地区電線類地中化事業位置図 (国道10号)



東九州自動車道 清武～日南間 L=28km



記者発表資料

平成18年度
国土交通省 延岡河川国道事務所予算について

平成18年3月30日

【お問合せ】 国土交通省 延岡河川国道事務所
TEL(0982)31-1155

河川事業 技術副所長 ^{たか}高 ^お尾 ^{ひでとし}秀 敏

道路事業 技術副所長 ^{すえよし}末 吉 ^{ひでゆき}秀 幸

延岡河川国道事務所

平成18年度予算のあらまし

【河川事業】

○激甚災害対策特別緊急事業を推進し、再度災害の軽減を図ります。

・平成17年の台風14号により甚大な被害を生じた五ヶ瀬川・大瀬川・北川・祝子川において激甚災害対策特別緊急事業を推進し、河道掘削、築堤、内水対策等を行い、再度災害の軽減を図ります。また各機関と連携し、五ヶ瀬川水系浸水被害軽減対策協議会を設立し、ハザードマップ作成支援や非常時の情報共有などのソフト対策など、様々な角度から効率よく浸水被害の軽減を図ります。

【道路事業】

九州循環型高速交通ネットワークを形成するため、高規格幹線道路などの自動車専用道路ネットワークについて、重点的かつ効率的に整備を進め、地域間の連携を支援し、地域活性化を図ります。

○東九州自動車道「県境～^{きたがわ}北川」間(新直轄区間)の用地買収に着手

○北方延岡道路「^{くらた}蔵田(^{てんまおおはし}天馬大橋)～^{きたかた}北方IC」間に着手
・北方延岡道路1工区の路線測量に着手します。

○北方延岡道路「^{きたかた}北方IC～^{まいの}舞野」間の供用目標に向け事業促進

○延岡道路「^{きたがわ}北川～^{のべおか}延岡」間のさらなる事業促進

平成18年度の主な事業

(1). 河川関係事業

1. 安全な国土・危機管理の充実

- 大規模な自然災害の発生に備えるとともに、防災に対する社会的需要の質的・量的な高度化への対応。

○重点目標

災害を未然に防止するとともに被害を最小限にとどめ、迅速に復旧できるようにする。

- ・五ヶ瀬川激甚災害対策特別緊急事業

【延－5,6参照】

2. 循環型社会に向けた社会基盤づくり

- 社会資本の整備に際しては地域の生態系や景観に配慮するとともに、自然環境の再生・創出に取り組む。

○重点目標

自然環境を保全し、新たな再生・創造に取り組む。

- ・五ヶ瀬川水系友内川^{ともうち}

【延－7参照】

(2). 道路関係事業

1. 「安全な国土・危機管理の充実」

安全で安心して暮らせる地域の実現に向け、自然災害に対して安全で信頼性の高い道路網を確保するとともに、交通安全対策の推進など安全な生活環境を確保します。

道路防災対策

- ・一般国道10号^{きたがわ}北川町～^{かどかわ}門川町

2. 「拠点都市の機能高度化」

都市と地方の機能高度化を図るため、環状道路・バイパスなどの都市基盤整備や都市圏の交通円滑化対策(渋滞対策)を進め、さらには、安全で快適な歩行空間・自転車利用環境の整備を進めます。

都市交通の円滑化

- ・一般国道10号^{かどかわひゅうが}門川日向拡幅「新生町交差点付近(延伸)」[平成19年度供用目標]
【延－8, 9 参照】

歩行空間のバリアフリー化

- ・一般国道10号^{ひゅうが}日向市^{ひらいわ}平岩

電線類地中化

- ・一般国道10号^{ひゅうが}日向市^{さいこうじ}大字財光寺

3. 「広域交流ネットワークの確立」

高規格幹線道路などの自動車専用道路ネットワークについて、重点的かつ効率的に整備を進め、地域間の連携を支援し、地域活性化を図ります。

地域間交流促進

- ・東九州自動車道「県境～北川」
- ・国道10号延岡道路「北川～延岡」
- ・国道218号北方延岡道路「蔵田(天馬大橋)～北方IC」
- ・国道218号北方延岡道路「北方IC～舞野」[平成19年度供用目標]
【延－8, 9 参照】

【 平成18年度予算の主な事業概要＜河川事業＞ 】

1. 五ヶ瀬川水系 かせんげきじんさいがいたいさくとかくべつきんきゅうじぎょう 河川激甚災害対策特別緊急事業

— 5年間で災害被害の軽減を図ります —

■ 事業の目的

- ・平成17年の台風14号は、宮崎県内を暴風域に巻き込みながら九州西海上を通過し、各地に大雨をもたらしました。連続雨量は上鹿川で1,217 mm、見立て10,25 mm、上祝子で10,97 mmを観測、記録的な豪雨となりました。

この豪雨による出水で五ヶ瀬川・大瀬川の各地点は軒並み既往最高水位を観測し、延岡市内の国直轄区間では越水が5カ所、内水被害が4カ所で発生し、宮崎県管理区間で1箇所の内水被害が発生しました。

この被害を受け、国は五ヶ瀬川などを激甚災害対策特別緊急事業に採択しました。延岡河川国道事務所では、平成17年度から平成21年度までの5年間に集中的に河道掘削や築堤等の河川改修を行うとともに、情報伝達網の整備や地域・各関係機関との連携を強化し、災害被害の軽減を図ります。

五ヶ瀬川と大瀬川を適正に分離する隔流堤の整備を促進し、また五ヶ瀬川河口開口を行うことにより洪水時の五ヶ瀬川の水位低下を図ります。さらに河道掘削や築堤を行い、再度の越水被害防止を図ります。

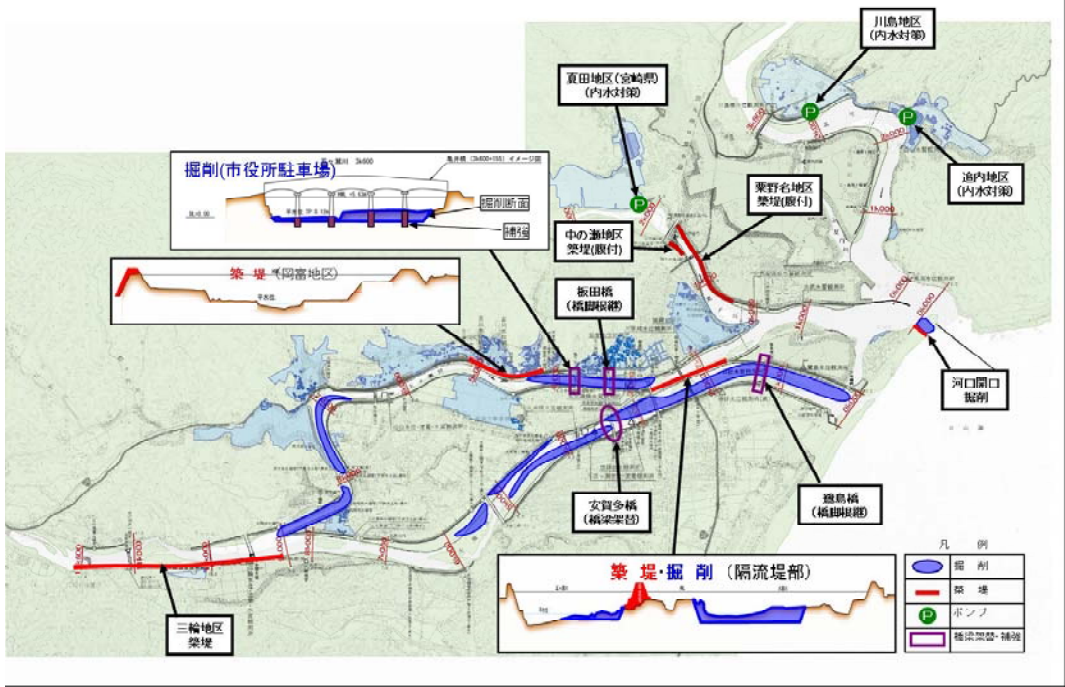
また内水被害に対しては排水機場の整備とともに、関連機関と連携し排水施設等の整備により被害軽減を図ります。

平成18年度は越水被害を防止するため危険箇所について緊急的な河道掘削を行うとともに、隔流堤に継続して取り組み、また排水機場整備に着手します。

■ 事業の概要（直轄のみ）

- ・場所 : 五ヶ瀬・大瀬・祝子川・北川（別紙参照）
- ・予定工期 : 平成17年度～平成21年度
- ・全体事業費 : 200億円

【 激特事業箇所】



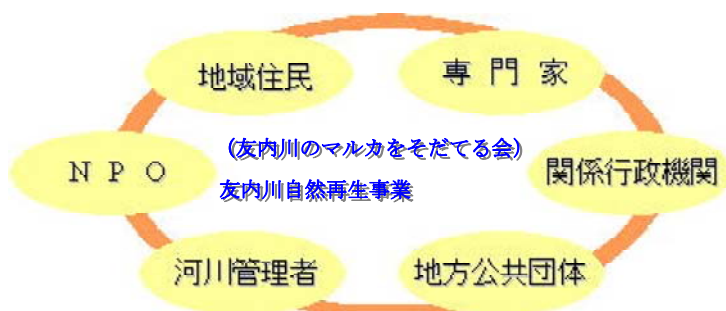
2. 直轄河川自然再生事業

- 友内川の塩生湿地の保全^{ともうちがわ}
- 友内川（場所：延岡市二ツ島町、無鹿町^{ふたつしま}、無鹿町^{むしか}）
 - ・ 平成16年度に立ち上げられた「友内川のマルカをそだてる会」とともに環境保全に取り組み、平成17年度には自然浄化施設の建造や水門のフラッシュ実験による水質の浄化を図り、効果を上げました。本年度も自然再生事業に取り組みます。

友内川のゆたかな自然環境



「友内川のマルカをそだてる会」が中心となっていて行っている、友内川の**自然環境保全活動**と連携し、**水質浄化や土砂堆積対策**に取り組みます。



【平成18年度予算の主な事業概要＜道路事業＞】

延岡河川国道事務所は宮崎県北地域の個性的で活力ある
地域づくり・道づくりを目指します。



【 延岡河川国道事務所 管内図 】

◆東九州自動車道「県境～北川」(新直轄区間)

新直轄事業の1日も早い供用を目指し、東九州自動車道「県境～北川」プロジェクトチーム(平成18年3月3日発足)により、地元・関係機関が一丸となって地元設計協議、用地幅杭設置、用地測量を行い用地買収に着手します。

◆国道218号北方延岡道路「蔵田(天馬大橋)～北方IC」

東九州自動車道、九州横断自動車道延岡線と一体となって九州循環型高速交通ネットワークの形成を図ると共に、災害に強く、安全と信頼性の高い代替道路の確保を図るため、路線測量に着手します。

◆国道218号北方延岡道路「北方IC～舞野」

着々と着実に、かつ重点的に取り組む事を目的とした「ちゃく2プロジェクト」により平成19年度供用を目指して事業の全面展開を図っています。

用地買収を促進するとともに、曾木3号橋上部工に着手し、小川1, 2, 3号トンネルを完成するなど工事促進を図ります。

◆国道10号延岡道路「北川IC～延岡」

用地買収を促進するとともに、大峡谷川橋の工事促進を図ります。

◆国道10号門川日向拡幅「新生町交差点付近(延伸)」

平成19年度供用($L = 0.4 \text{ km}$)を目指し、用地買収を促進するとともに、工事促進を図ります。

宮崎港湾・空港整備事務所

□ 平成 1 8 年度 港湾関係予算の事業費内訳

(単位：百万円)

事業区分	事業費
宮崎港（内港地区）岸壁（-7.5m）改良	300
宮崎港（東地区）南防波堤	241
細島港（外港地区）南沖防波堤	1,302
合計	1,843

□ 平成 1 8 年度 港湾関係予算主要事項の概要

安全な国土・危機管理の充実

震災等の自然災害から都市と地域の暮らしを守るため、災害時における緊急物資輸送の拠点となる岸壁の耐震化改良を実施します。

宮崎港（内港地区）岸壁（-7.5m）改良



自然と都市サービスを享受できる都市・自然交流圏づくり

波浪等の影響による係留・荷役障害の発生を防止し、安全性の確保、物流コストの削減、運航の定時性・安定性の確保を図るために、防波堤の整備を推進します。

宮崎港（東地区）南防波堤



細島港（外港地区）南沖防波堤



□平成１８年度 空港関係予算の事業費内訳

(単位：百万円)

事業区分	事業費
宮崎空港誘導路改良及び用地造成（排水工）	261

□平成１８年度 空港関係予算主要事項の概要

広域交流ネットワークの確立

九州内外との交流促進に向け、空港の機能の充実を図るために、誘導路の改良及び用地造成（排水工）を実施します。

宮崎空港誘導路改良及び用地造成（排水工）



問い合わせ先

宮崎港湾・空港整備事務所
工務課

0985-25-5375
前田 俊明
大串 哲哉

平成 18 年 度 予 算 概 要



国土交通省 九州地方整備局 川 内 川 河 川 事 務 所 平成 1 8 年 3 月 3 0 日

問い合わせ先

川内川河川事務所 0996-22-3271 調査課 林 健太郎



1. 平成18年度川内川（宮崎県関係分）予算概要

○事業費総括表

（単位：百万円）

事業費	平成18年度 当初 (A)	平成17年度 補正等 (B)	平成17年度 当初 (C)	A/C ((A+B)/C)
直轄河川改修費	47.0	100.0	—	—
直轄河川維持修繕費	260.3	—	184.8	1.41
河川工作物関連応急対策事業費	241.4	—	164.0	1.47
建設機械整備費	15.2	—	2.0	7.60
直轄河川等災害復旧事業費	—	—	1.6	—
合計	563.9	100.0	352.4	1.60 (1.88)

○主な事業内容

○改修工事

向江排水機場において、排水ポンプを増設し内水対策を強化します。

○維持・修繕工事

直轄管理区間の堤防において、除草などを行い河川管理施設の維持を図ります。
また、向江水門について管理橋の老朽化に伴う修繕工事を行います。

○応急対策事業

西川北樋管、松原排水樋管の施設改善及び上屋設置などの工事を行い、操作性の向上を図ります。

西川北樋管



○堤防詳細点検

ボーリング調査（地質調査）等を行い、堤防の強度を確認します。

○その他

河川管理及び河川改修計画の基礎資料となる情報収集を目的として、高水流量観測、低水流量観測を各1箇所、水質観測を1箇所実施します。

川内川流域図

改修計画概要	
水源地	熊本県球磨郡上村白壁山 1,417m
流域面積	km ² 1,600 (山地1,206 平地その他394)
幹川流路延長	km 137
直轄管理区間延長	km 113.2 (支川含む)



凡 例	
▲ 国	洪水予報・水防警報対象観測所
■ 国	水防警報対象観測所
—	水防警報対象流域界
④	雨量観測所
△	水位観測所
■	水位・流量観測所(高水、低水)
□	水位・流量観測所(高水)
◇	水位・流量観測所(低水)
■	既設ダム
①	風向・風速計
—	テレメータ

水防警報対象観測所		
観測所名	流域面積	区分面積
真 幸	246 km ²	246 km ²
吉 松	284	38
栗 野 橋	339	55
湯 之 尾	390	51
宮 之 城	1,032	397
倉 野 橋	1,153	121
川 内	1,425	272
花 北	245	245
全 流 域	1,600 km ²	

この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号)昭和54様第126号

平成15年5月一部修正

編纂印刷 東海建設技術K.K. 地図部 登録商標(昭73)1-436

平成十五年五月現在 国土交通省川内川河川事務所

鹿児島営繕事務所

平成 1 8 年度営繕事業について

1. 暮らしを守る国土と環境の保全・再生

安全・安心の確保に資する防災拠点施設の整備を推進します。

2. 自然と都市サービスを享受できる都市・自然交流圏づくり

グリーン庁舎（環境配慮型官庁施設）等及び地域のまりづくりに貢献する官庁施設の整備を推進します。

平成 1 8 年度予算の概要について

事業概要（宮崎県）

平成 1 8 年度は、次の事業を実施します。

（１）施設整備費

延岡地方合同庁舎のバリアフリー外 1 施設の改修を実施し、年度内に完成します。

また、宮崎法務総合庁舎の新営を行います。

① 所管予算

延岡地方合同庁舎	庁 舎	バリアフリー改修
油津港湾合同庁舎	工 作 物	下水道接続

② 支出委任

宮崎法務総合庁舎	庁 舎	新営（新規）
----------	-----	--------

問い合わせ先

国土交通省鹿児島営繕事務所

TEL 099-222-5188

技術課長 小山 伸隆